

# 2019 布田の地域づくりだより「ふわり」 復活版第7号：2019年5月

## 布和里

発行：布田地区地域作り委員  
編集：西原村役場 震災復興推進課

主 ★鯉のぼり、山焼き、祝100歳・・・ P1  
な ★工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ・・・ P2  
記 ★工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ・・・ P3  
事 ★せからし会、布田川トレイル、地域作り委員 vol.1 ・ P4

4月初旬に行われた地域作り委員の会合の中で、今年度(平成31年度/令和元年度)、布和里を年間6回発行することが決定しました。中面は昨年度同様、工事の進捗具合をお伝えし、表面は3月から4月にかけての布田地区の催し他、5月に予定している地域作り委員の主催のイベントの告知をさせていただきます。



### 鯉のぼり

4月20日快晴となり、毎年恒例となった布田の行事のひとつでもある、鯉のぼりが布田の堤に上がりました。3年前の地震から、鯉のぼりに復興への願いを込めています。風が吹くと「帰って来いよ」と言わんばかりに泳ぐ鯉のぼりを見ると、「昇り上げてごらん、布田のこいを・・・」(坂本九『見上げてごらん夜の星を』調)を歌ってみたいとなりました。

青空を楽しそうに泳ぐ鯉のぼりをぜひ見に来てください。8組の組を描いた横断幕も一緒に飾っています。

### 鯉のぼりの現物寄付

押入れや倉庫に眠っている鯉のぼりを集落に現物寄付していただける方がいらっしゃれば、加藤和盛(090-1088-4367)に連絡をください。

震災後に寄付いただいた鯉のぼりですが、経年劣化と風雨の影響で幾つか破損していたため、処分させていただきました。その一方で、今回8組分を確保するのがやっとでした。来年度以降も続けていくために、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 祝100歳 ユキノさん、おめでとう!!いつまでもお元気で

加藤ユキノさん (大正8年1月3日生)

大正、昭和、平成、そして令和と4つの時代を生きてこられました。色々あった100年の人生だったでしょう。100日目のお誕生日、おめでとうございませう。これからも長生きしてくださいね。



### ご家族からのメッセージ

母は家族全員の大切な宝です。物忘れも進んでいますが、まだまだ元気です。2回目のひもととき祝いを目指して欲しいです。



今年の4月から、サロンが主体となって毎週土曜日の朝10時から、1時間ほど集会所でスーパー体操を行っています。サポート役は、村の講習会を受けた7名(各回2名)+αが務めます。最終週だけは80歳以上の方が対象ですが、それ以外の週はどなたでも参加可能です。皆さんで集まって、おしゃべりしながら体を動かしてみませんか。

### せからし会 4月20日



3月30日に無事にスタートしたせからし会。2回目となる会を4月20日に行いました。当日はお茶を飲みながら、せからし会としてどんなことをやりたいかを話しました。そこで、次回第3回のせからし会では、防災頭巾をつくってみようという話になりました。



○次回(第3回):5月25日18時半~集会所  
~防災頭巾作り~

○参加:5月18日までに林田るみ(090-5386-1003)に連絡ください。今回は材料(布/キルティング)購入のため、参加人数を事前に把握したいと思えます。



※五木村の研修に行き、茶話集子という婦人会の活動に出会いました。布田では婦人会がなくなり、女性が集まる会がなかったため、みんなが気軽に集まる会として「せからし会」を発足しました。この会は、布田に暮らす女性たちの親睦を目的としています。

### イベント告知 布田川トレイル 5月26日予定

熊本地震の震源地・布田川断層の直上にある布田川。布田川を流れていた水は、震災後どこに行ったのでしょうか。それはさておき、現在水無川になっている布田川の中を探検してみませんか?今だから出来る冒険です。

ひとりでも冒険しようとしても、妙に周りの目が気になって、やることを躊躇したりしませんか?今回みんなで、大人も童心に戻って一緒に楽しみませんか?

○日時:5月26日(日) 9時~ (昼前に解散予定)

雨天の場合は延期(日時未定)

○集合場所:集会所

○携行品:長袖、長ズボン、長靴、帽子、水筒

○コース:布田集会所から行けるところまで

※ケガ等には一切責任を負いません。



### 地域作り委員 vol.1

今年度の布和里は地域づくり委員15名が、3班に分かれて紙面を作成していきます。今回から3回に渡って委員の紹介をさせていただきます。紙面に載せたい情報、布田地区でやってみたいこと他があれば、委員に気軽に声をかけていただければ幸いです。



**加藤和盛(委員長)**  
地域作り委員長となりました。生まれも育ちも布田です。皆様と一緒に無理のない、息の長い地域作りに取り組んでいきたいと思えます。



**加藤幸子**  
今回、初めて布和里に参加することになりました。布田のこと、まだまだ知らないことがたくさんあるので、この機会に少しでも知っていければと思います。



**林田るみ**  
2年目の地域作り委員となりました。私自身、大人しいのですが、せからし会の発足人でもあります。地域でできることを皆さんと一緒にやっていきたいと思えます。



**緒方チヨ**  
はじめまして。布田に嫁いで30年になります。多くの皆様のご支援によりお店もオープンすることができました。有難うございます。大衆演劇とお酒が大好きです。よろしくお願いします。



**山本輝美**  
少しでも、布田地区にお役に立てればと思っています。



### 村内球技大会 4月21日

4月21日に村民グラウンドで村民球技大会が行われました。布田地区は、ペタンク競技に参加し、和気あいあいとプレーを楽しみ、心地よい汗を流しました。心も体もリフレッシュでき、充実した1日を過ごしました。結果、上組Aチームは優勝することができました。



4月25日、下布田の現場事務所で、再生委員と工事に向けた話し合い(説明)が行われました。各戸の工事については各地区の再生委員に確認ください。



- 5月12日(日) 地区各所
  - 5月26日(日) 9時~ 布田集会所出発
  - 5月26日(日) 9時~ 区役所(区役所) 区役所
- ※イベント等の情報を お待ちしております。



### 「いちら」編集部

平成31年4月1日に菅官房長官から新元号「令和」が発表されました。その後の談話の中で、安倍総理大臣は、令和を万葉集の梅の花をめでる様子が描かれている条文から引用したことを説明すると、その「S.M.A.R.T.」世界に一つだけの花にひっかけながら一人ひとりの日本人が大きな花を咲かせることができる日本でありたいと希望を込めた」と語りました。

震災から3年、これから住民一人ひとりが花を咲かせる、みんなで花をめでる様な、長閑な里を少しずつ取り戻していければと思います。

取材/緒方チヨ、加藤和盛、加藤幸子、林田るみ、山本輝美

### 山焼き 3月23日

当初3月3日に予定していた山焼きが、天候不順で順延になり、3月23日にやっと実施することができました。春を呼ぶ風物詩でもある山焼きは、山の枯葉を焼くことで、その灰が肥料となり、害虫の駆除にもなると言われてます。村のひとつの伝統行事として長年受け継がれており、最近は観光客も訪れているようです。山焼きで一面黒くなった草原が、少しずつ新緑に覆われていく山の変化を時々眺めてみてはいかがでしょう。



# 工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ

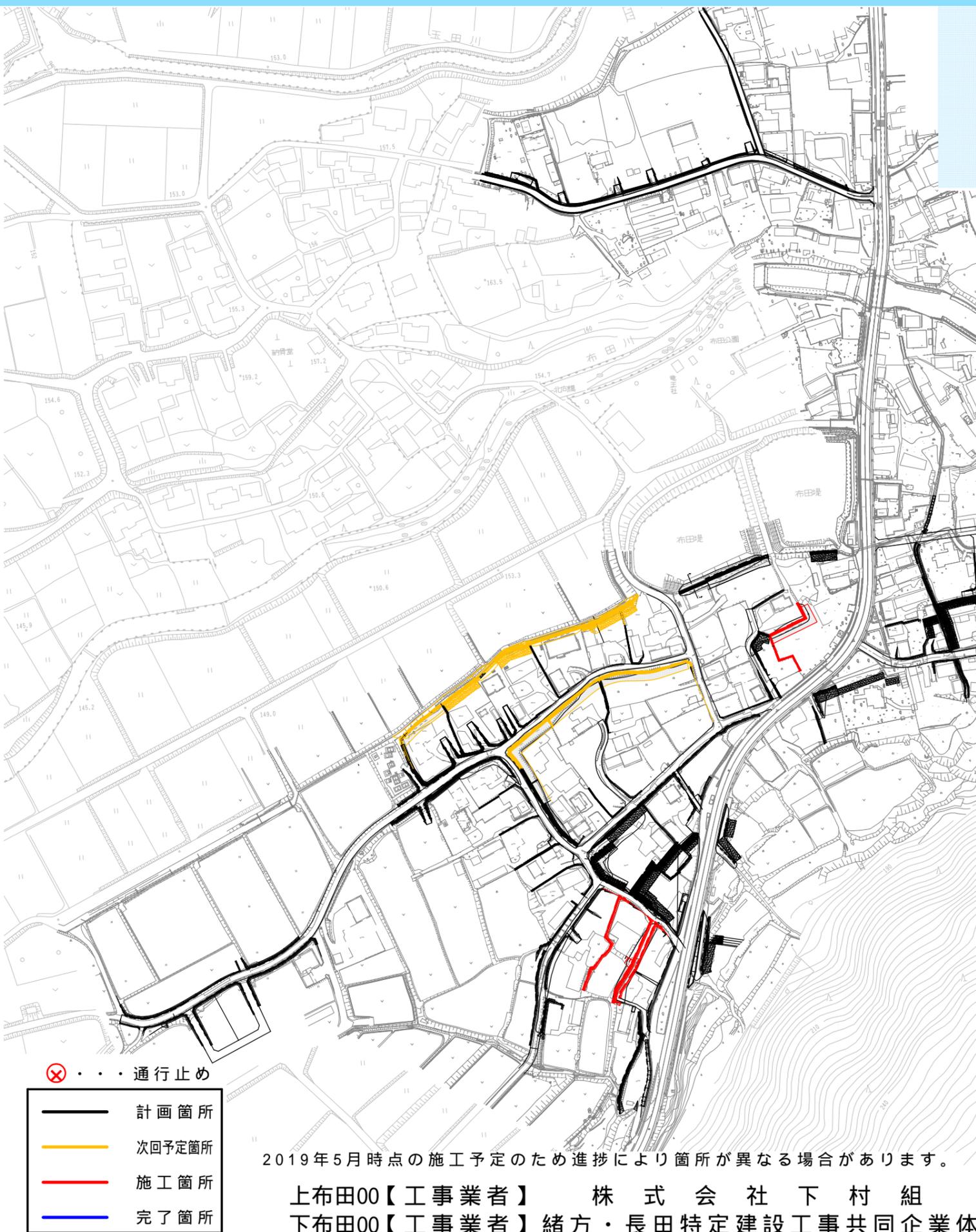
【2019年5月時点】

布田集落は上布田、下布田の2工区に分けて工事を行います。  
優先して施工する箇所より擁壁等の工事を進めております。  
伐採や撤去等の作業に際し、みなさまにご相談や立会をお願いする場合がございます。  
工事等によりご迷惑をおかけしますが引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

ドローン空撮【全景-1】 2019.02.28撮影



ドローン空撮【全景-2】 2019.02.28撮影



2019年5月時点の施工予定のため進捗により箇所が異なる場合があります。

上布田00【工事業者】 株式会社下村組  
下布田00【工事業者】 緒方・長田特定建設工事共同企業体